

2022 年秋学期 オカナガン大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

先生がその一回の授業でやることを最初に提示し、先に先生から内容や説明を聞き、あとは自分たちで考える時間やディスカッションする時間が多かったです。

個人の実力にあった授業でした。

留学生だけの 15 人くらいの少人数

先生と生徒の距離が近く、発言しやすい授業環境でした。

発表する機会を多く設けられていた。

reading クラスは週 5 回でセメスターの半分で担当の先生が変わった。speaking のクラスは週 4 回で先生が 2 人いた。進むスピードは普通ぐらいで質問などしやすい環境だった。時間は約 2 時間くらい。

ディスカッションのクラスでは、リスニング内容や単語の意味などはグループになって話す会うことが多かった。また、みんなの前で 1 人でするプレゼン、みんなの前でペアでするプレゼン、先生の前でグループでするプレゼンを計 10 回以上行った。ライティングのクラスでは、文法の細かい範囲やエッセイの書き方を学んだ。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスの人数は 11~20 人で日本人が半数を占めていました。留学生の出身国は台湾、メキシコ、チリ、ウクライナなどでした。

クラス人数:約15人 比率:5:5 ウクライナ、ケベック、コロンビア

15 人、日本人が多かった。香港、コロンビア、ブラジル、イラン、

クラスの半数が日本人で、外大生もいました。他の国からはコロンビアやイラン、香港からの留学生がいました。

15 人。中国、コロンビア、イラン、ブラジル。

だいたい 13 人くらい。半分は日本人。その他は、チリ、タイ、メキシコ、ウクライナなど。

クラス人数は 20 人程度で日本人と他国の留学生の比率は半々、留学生の出身国はメキシコや韓国、ベトナム、タイ、中国などであった。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

とにかく学生主体で分からないところや少しでも疑問に思ったところは授業や説明を止めてまで質問をしていた。積極的に学ぶ姿勢を感じた。

積極的に発言する人が多かった。

生徒の発言数が多く、少人数クラスだったのでクラスメイト同士の仲がよかった。

自分から発表することが大事。

みんなにぎやかで仲良くなりやすい環境だった。ペアワークとか最初のアイスブレイキングで会話もできて、クラスだけでなくイベントなどでほかの English クラスの生徒と仲良くなれる。

ディスカッションのクラスではもちろんのこと、ライティングのクラスでも学生の発言が多く、みんなで話し合いながら問題の答えを考える機会が多かった。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

カナダの祝日に関するエピソードやなぜそれが祝日になったのかの経緯について少し学んだ授業が印象的でした。なぜなら、日本ではない祝日で初めて知った日だったからです。終戦記念日が違うのも日本と違うところだと思い、驚きました。

プレゼンテーション、ギフトドレドレン

お金と幸福

失敗についてプレゼンをしたこと。

食生活、成功とは。

ギフトドレドレン

自分たちで会社を作るプレゼンや先生が発音する単語の書き取り、冠詞、フードサイエンスについてのエッセイなど

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

予習復習を徹底し、分からないところは質問し、分からない単語、この文法の使用の仕方では通じるのか疑問に思ったところを質問できるように準備していました。

復習、予習を毎日朝早く学校にきてしました。

積極的に発言すること。

知らない単語が出てきたらすぐにメモして、家に帰ったあと別のノートに書き出して覚えた。毎日リスニングをすることも習慣づけた。

課題はその日のうちに終わらす。レポートやプレゼンの準備は先延ばしにしないで、土日に仕上げるようにしていました。

とにかく多くの人が発言するのでそれに負けないように自分の考えを持ち、発言することや課題にはギリギリにならないように日数を計算しながら取り組むこと、プレゼンを行うにあたって発音を気をつけることなど

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人	-
1人	日本
2人	日本、中国

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩	15-30分	ホームステイ先
自転車	0-15分	ホームステイ先
バス	15-30分	ホームステイ先
バス	30-45分	ホームステイ先
バス	45-60分	ホームステイ先

部屋に用意してあったものは何ですか。

ハンガー、毛布、机、イス、洗濯カゴ、ゴミ箱

ベッド、机、クローゼット、洗濯機、個人のお風呂、トイレ、洗面所

ベッド、机、椅子、タンス、収納棚、ハンガー

ベッド、机、イス、本棚、ハンガー

クローゼット、ベッド、タンス、バスタオル

ベッド、クローゼット、タンス、鏡、小さい机

自分で用意したものは何ですか。

シャンプー、コンディショナー

お風呂用品、

シャンプー、歯ブラシ、水筒

日用品、衣類、シャンプー、リンスなど

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

家は土足で上がったり、靴を脱いだり、日本にはある玄関のような区切りがなかったので、スリッパがないと足の裏が汚くなる。

寝るのが早い

洗濯は週に一回、

トイレが人と共有ではない

シャワーとトイレと洗面台が全て同じ部屋にある。シャワーしかなくて湯船がない。

お風呂は2日に一回程度、トイレの水はあまり流さないようにすること、洗濯は週に一回

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

そのホームステイ先のルールをあらかじめ聞き、疑問に思ったことは初めのうちに質問して1回言われたことは覚えておいて何回も聞かないようにすると、いいと思う。

自分から積極的に話しかける。

自分から話しかける、コミュニケーションをとる、部屋のドアを少し開けておく。

いつも笑顔で話すこと。朝と夜のあいさつを毎日すること。

ホームステイの場合、それぞれの家庭のルールを初日に聞いて覚える。

ホストファミリーと本当の家族みたいに仲良くなること

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。
はい	日本からSIMカードを持参	LANケーブルで可能
はい	日本からSIMカードを持参	ワイヤレスで可能

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

大学のイベントが沢山あるので、行くと、フリーでピザやお菓子がもらえて食費がうくと思う。新しい友達も見つけることができるから参加するべきだと思う。

映画観賞会

友達と大学の近くのショッピングモールに行く

自宅で映画鑑賞、モールにショッピング、ダウンタウンでランチ、公園でピクニック、友達とパーティー

学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

スーパーや近くのショッピングモールに行った。

スケート、図書館、スキー

フードサービスの食堂のようなところをよく利用した

学内のカフェテリア、Timhorton

モール(オーチャードパーク)、ダウンタウン

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

単語帳や文法書をもう一度読んで、お店での注文の仕方を練習していた。

勉強、会話表現、カナダ文化やルールを調べました。

英語の勉強、異文化理解

日常づかいする英語フレーズを勉強する

基本的な会話方法を覚えた

ホームステイ先で必要な英語・英文の確認、手土産の準備

留学前にしておけばよかったと思う準備

スピーキング力が留学で必須であるし、発音もカタカナ英語になりがちなので自分で発音したものを録音して自分の耳で聞いて発音をもっと練習すればよかったと思った。

服そんなに持っていかなくて良い。留学先で買う、

ホストファミリーに日本のことを聞かれたりするため日本のことを知っておくこと、日本と留学先国の関係

リスニングの練習

普段は使わないけど日常にある英単語の勉強

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

ファブリーズ、お味噌汁のインスタント、スリッパ、ドライヤー

日本のお菓子、100均グッズ

カナダには甘いお菓子が多かったから、塩つけのあるお菓子が喜ばれた

頭痛薬、胃腸薬、体温計、寒い国なら絶対にマフラー、カイロ、手袋、ヒートテック、日本のお菓子、インスタントの味噌汁、箸

折り紙、高級ポッキー

日本から持っていく必要のなかったもの	
ハンガー、バスタオル	
洗濯用洗剤、シャンプー、リンス、ハンガー	ホームステイだったため、買ってくれました。
電子辞書、洗濯バサミ、洗濯洗剤、	
電子辞書	
服	
薬(念のために頭痛薬や腹痛薬などを多く持っていくすぎた)、日本食	

日本から持参すればよかったと思ったもの	
水着	
水筒、	
ペンケース	
ふりかけ	

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	
クレジットカードと現金を持って行った。	
現金 ほとんどのお店でクレジットカードを使用しました。	
現金 3 万円、クレジットカード、デビットカード	
現金を多く持っていったが、そんなにいらなかった	
現金、デビットとクレジットを使っていました。	
現金、クレジットカード 2 枚	

日本円でいくぐらい準備しましたか。	
クレジットカード上限 100,000 円、現金 20,000 円	
現金 3 万円、クレジットカード 10 万円、デビットカード 10 万円	
クレカ 30 万 現金 10 万	
現金 5 万、デビット 15 万くらい	
現金 6 万円分、クレジットカード 2 枚で 50 万円分	

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	
食費 5 万円くらい	
食費は月に 2 万ほど	

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

テキスト代 20,000 円、通学費バス代 20,000 円

テキスト代20000万円 通学費20000万円

テキスト代 5000 円、通学定期 17000 円

テキストは 8000 円、通学費は 4 ヶ月で 17000 円

テキスト 2 冊で 2 万、バス定期代 2 万

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

旅行代 30,000 円、買い物 50,000 円

服、メイクアップ、お菓子20万円

服、スノボ、お土産、食事で 10 万程

だいたい 20 万円

5 万くらい

総額50万

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

初めは、間違いを怖がってホストマザーやクラスでもあまり発言ができなかったが、一生懸命話すことので相手も一生懸命聞いて理解しようとしてくれることに気づき、積極的に話すことができた。普通のスピードで完璧に言いたいことを理解するのはまだ難しいが、60%は理解でき、話すのもよく使える単語やフレーズを過ごすうちに学んだため、リズム良く話せるように少しはなった。

初めは何を言っているのかわからないときがありましたが、だんだん聞き取れるようになりました。

授業での発言数が向上した。

リスニングが大幅に向上した。

留学前よりは確実にコミュニケーション能力は上がった。

一番成長したと感じることは留学する前よりもリスニング力が上がったこと

留学前の目標とその達成度

積極的に自分から話し、沢山のことを共有できるようになることが目標だったが、ゆっくりの会話であったが、自分の言葉で話すことができた。まだ、全ての言いたいことを伝えることは難しかったため、練習が必要だと実感した。

留学前目標は積極的に話しかけて、友達を作ることでした。友達ができるにつれて、毎日の英語での会話が増え、英語を理解し話せるようになりました。

プレゼンへの苦手意識を克服したいという目標があった。人前で話すことへの恐怖心が薄れ、より社交的や性格になった

海外で、1 人で行動することができた。

英語で色々な国の人と会話して繋がるのが出来た。

留学前の目標:他国の友達を作る、ホームステイ先でたくさん話し仲良くなる、達成度:100%

留学を通しての成長ポイント

自分から怖がらずに話しかけ、自分の強み、弱点を知る力がついたと思う。

ひとりで何事も成し遂げる力。

異文化理解、積極性がついた、自分の意見を言えるようになった

失敗することへの恐怖心がなくなってなににでも挑戦できるようになった

授業内で発表する力

外国人のラフな明るい感じのコミュニケーション能力が身について、フレンドリーになれた。

リスニング力、発言力

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

他の日本人やネイティブの人と話すにあたって、自分のスピーキング力が足りてないことを実感させられたため、よりスピーキングに力を入れようと留学を行ったことで体感し、モチベーションが上がった。

留学中にできた友達と連絡を取り続け、もっと英語を話せるようになりたいです。

留学を通して英語を話すことがより好きになり楽しくなった。

留学前は不安ばかりだったが、留学中失敗を恐れないことの大切をしり、留学後、人前での自信がついた。

英語を話すことに抵抗があったが、留学したら英語しか話せないで、どうやって伝えるかをまず考えてから言葉にしていた。英語は声のトーンで気持ちの伝わり方が変わるから嬉しい時はちゃんと嬉しい気持ちを伝えるようにしていました。

留学前:英語で話せない・不安、留学中:なんとか伝えるために努力・成長、留学後:もっと英語を話したい・英語圏で働きたい

留学中 100%力を振り絞った瞬間

ホストマザーと車で2人で話すとき、沢山話すこと、自分のことを知ってもらうことを目標に一生懸命話した。

最初はわからないことがあった時に、一人で解決しようとしていましたが、だんだん自信が出てきて周りの人に話しかけるようになりました。

プレゼンテーション

クラスで発言すること

ファイナルプレゼンです。3回プレゼンがあったのですが、ファイナルだけ10分のプレゼンでテーマも難しく、単語が難しくてスクリプトを覚えるのもすごく大変でした。ですが、ファイナルなのでただ全力を尽くしてプレゼンをやり遂げました。

プレゼン、エッセイ

留学先大学の良かった点

自然が多く、空気が美味しかった。

フリーフードが多かった。

先生が親身になって相談に乗ってくれた。

たくさんの国籍の人がいて新しい発見がたくさんあった

留学生に対してのさまざまなサポートやイベントがとても良く印象的だった。

留学生だけのイベントやサービスがあり良かった。